

秘密のおにぎり

大原中学校 二年 勝見 流々

「こっちで一緒に食べよう」友達の家族が声をかけてくれた。運動会のお弁当といえ一番の楽しみと言っても過言ではない。しかし、私にとっではどうだっただろうか。

私の家は自営業で土日は忙しい。特に昼が一番忙しい時間帯のため、運動会では昼前に帰ってしまふ。だから友達の家族に混せてもらって一緒に食べるのが恒例となっていたの

だ。友達の家族とはいえ、やっぱり気が引ける。レジヤ―シートの方でお母さんに渡された大きな弁当の箱を開ける。いつもお母さんはお弁当の中身を秘密にしているのだが、気になっで聞いてみると「開けるまでワクワクするでしょう？」と答えた。確かに開ける時は毎回ワクワクしていた記憶がある。母は運動会のお弁当のために前日から何か作業をしていた。当日も朝早くから起きて忙しそうだった。私が学校に行くまで慌ただしく動いていた。

たのを思い出す。

一段目は私の好きなおかずがいっぱいだ。二段目を開けて目を引いたのは、かわいいおにぎり達。ある時は赤白黄色のハチマキをつけた子供達の顔、ある時は栗の形そのくりにのおにぎりがお行儀よく並んでいる。一緒に食べてくれる友達もかわいいと言ってくれて、嬉しいような照れるような気持ちで寂しいお弁当の時間もやり過ぎす事ができた。

中学生となった今、運動会は親と食べる事

はなくなつた。ただ今でも秘密のおにぎりは続いている。数人のおじさんがニコニコしている半分嫌がらせじゃないかと思うユーモアたっぷりのおにぎりが並んでいる時もあり、私は一人お弁当を覗いてニヤニヤしてしまふ。次の日がお弁当だと忘れていたお母さんに、「適当でいいよ」と言うところ、大丈夫」と言い、やっぱりかわいいおにぎりが入っている。

家族で囲んで食べるごはんも最高だが、私が寂しくないようにと作ってくれた母の愛情

たっぷりのおにぎりは一人でも最高だった。
そういえば、母の作るお弁当はパンではな
く必ずお米だ。パンよりもお米の方がカが出
るという理由らしい。確かに、朝食でパンを
食べた時よりごはんの方が腹もちがいい気が
する。それに、パンに比べて塩分・糖分が少
なく、健康にもいい。炊き過ぎて残ってしま
た時には冷凍にもできる。一人暮らしをして
いる姉も、休みの日にまとめて炊いて冷凍し
ていると聞いたことがある。家の冷凍庫にも

冷凍したごはんとおもちが必ず入っている。

私はおもちも大好きだ。もち米と水だけで
できているのに、なんであんなに美味しいん
だろう。おかずが無くても醤油につけて海苔
を巻けば一品になるし、お雑煮にすれば野菜
も一緒に取れて一石二鳥だ。

ただ今年の夏は暑く、雨も少ないため田ん
ぼの水も枯れて収穫前の稲が倒れてしまっ
たというニュースを見た。それを聞いて私の好
きなお米は大丈夫か心配になった。調べてみ

ると、暑さに強い品種、冷夏でも影響の少ない品種などもあるようだ。それでも毎年違う環境での米作りは難しくて大変だろう。農家の親戚のおじさんも、今年は虫が多くて苦労したと言っていたのを思い出した。田植えから収穫するまで大切に育てたお米が天候に左右されるのを知ると、更に感謝して大切に頂こうと思う。

この先、減っていくと予想される日本の米農家。知恵と技術を組み合わせ、持続可能な

農業を実現してほしい。お母さんの秘密のおにぎりはまだこれからも続きそうだが、私の子供や孫にも美味しいおにぎりが食べられる未来であってほしいと強く願うばかりだ。